

英語科学習指導案

令和元年11月8日（金）第5校時（13：25～13：15）1年〇組

T1

T2

題材名 Lesson 6 My Family (New Crown 1)

【目標】

イギリスにいる ALT の家族に本校の先生を紹介する活動を通して、相手意識をもった Show and Tell をすることができる。

I 課題発見型学習活動

〇ALT の家族からのビデオレターを視聴し、日本に住む ALT に対して家族が心配していることを知り、ALT の家族を安心させるために何ができるかを考えることで、単元の課題をつかむ。

〇小学校で行った「My Hero」の活動や、前単元で行った先生へのインタビューでまとめたプロフィールカードをつなぎ教材として Show & Tell の際に活用し、〇〇中の先生について紹介したり、文章を書いたりする活動をする。

〇I と You 以外の人を説明するために、必要な文法事項を知る。

【単元の課題】

イギリスにいる ALT の家族にビデオレターを通して〇〇中の先生を紹介し、安心させよう。

II 単元計画（全9時間予定）

* 単位時間の中心活動（はばプラ II 参照）

過程	時間	〇めあて ※生徒指導3機能（自=自己決定、存=自己存在感、共=共感的人間関係）	・主な学習内容	◎学びのつながり	*	評価の観点			
						関	表	理	言
つかむ	1	〇イギリスにいる ALT の家族からのビデオレターを見て、みんなができることを考えよう。（※共） ◎既習表現を使って、プロフィールカードを用いながら、小野中の先生の紹介をする。（試しの活動） ・ALT のフィードバックを聞いたり、教科書を活用したりしながら、3単元の S に気づく。 ・試しの活動の中での友達とのやり取りや教科書の活用を通して言いたい表現をつかむ。			A B	〇			
	2	〇先生について紹介したり、説明したりする表現を知ろう。 ・教科書本文を読み進めることを通して、他者について紹介したり、説明したりする表現を理解する。 ・3単元の S がついた一般動詞の言い方を知る。 ・3単元の S に慣れるためにマッピングを行いながら繰り返し表現を使う活動を行う。 ・活動で言えた表現を書きためる。			B				〇
追	3	〇教科書の本文を参考にして、先生のことを紹介しよう。			B				

究 す る		<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文 Part1 がどのように家族を紹介しているのかを意識しながら読み進め、紹介に生かしたり、内容を大まかに理解したりする。 教科書本文 Part1 を気持ちを込めて音読する。 Show&Tell を用いたやりとりを通して、先生を紹介し、互いに参考になる部分をマッピングに加える。(※存) 	C		○	○	
	4	<ul style="list-style-type: none"> ○質問したことや答えたことを加えて、先生のことを紹介しよう。 教科書本文 Part2 を読み進めて、does を含む疑問文について触れたり、大まかな内容を理解したりする。 教科書本文 Part2 を気持ちを込めて音読する。 先生がすることについてたずねながらやりとりを行い、質問されたことをマッピングに加える(※自) 活動で言えた表現を書きためる。 	A B		○	○	
	5	<ul style="list-style-type: none"> ○しないことを加えて、詳しく先生のことを紹介しよう。 教科書本文 Part3 を読み進めて、does を含む否定文について触れたり、大まかな内容を理解したりする。 教科書本文 Part3 を気持ちを込めて音読する。 先生についてやり取りを行い、しないことについてたずねながらやりとりを行い、しないことをマッピングに加える。(※自) 活動で言えた表現を書きためる。 	C		○	○	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書本文を参考にして、先生のことをより詳しく説明しよう。 先生についてより詳しく説明するために活用できそうな文を教科書本文から抽出し、追記する。 説明で言えた文を書きためる。 	B C			○	
	7	<ul style="list-style-type: none"> ○書きためた紹介文をグループで読み合おう。 ◎1時間目に視聴した ALT の家族からのビデオレターを再度見て、単元の目標を再確認する。 相手に伝える際には正確性も求められることに気付く。 先生について書きためたものを3人グループで読み合い、チェックリストを活用しながら推敲する。(※共) 推敲されたものをもとに誤りを修正し、書き直す。 	B C		○		
	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ALT に○○中の先生を紹介しよう。 マッピングと写真をもとに Show and Tell で ALT に○○中の先生を紹介する。(※存) ALT に紹介する様子を録画する。 	B	○	○		
	9	<ul style="list-style-type: none"> ○先生の紹介ビデオレターをよりよいものにしよう。 ◎8時間目に録画した Show and Tell を見直して、ALT の家族を本当に安心させるためにはどうすればよいかを考えて紹介する。(※共) 自らの動画をグループで見直す。(※存) 	B C		○		

「単位時間の中心活動 (はばプラ II 参照)」について

A: 「単元の課題の解決」に向けて、新言語材料に触れる。

B: 新出言語材料を活用する言語活動に取り組む。

C：教材にあるまとめの活動や、教科書の本文理解など、本文に関する言語活動に取り組む。

III 「つかむ」過程における授業の展開（1/9）

A・B

- 1 ねらい イギリスにいるALTの家族からのビデオレターを見て、ALTの家族を安心させるために本校の先生を紹介するという本単元の見通しをもち、既習表現を使って先生を Show and Tell で紹介する。
- 2 展開

学 習 活 動 ☆：生徒の意識	時 間	指導上の留意点及び支援のポイント ◎学びのつながり ◇つなぎ教材 ※生徒指導3機能（自=自己決定、存=自己存在感、共=共感的人間関係）	
		JTE	ALT
1 あいさつ・帯活動 ・スモール・トーク Topic: 「My Hero」 Who is your hero? ☆My Hero って小学校のときにやったな。 ☆ALT のヒーローはご両親なんだな。	5分	◎◇小学校6年生の外国語活動で発表した My Hero について言及し、やりとりをさせる。 ○本単元の課題をつかむ場面であるので、「ALTのヒーローは両親」であることを生徒全員が理解させる。 ○教科書の内容が My Family 「ALTの先生のふるさとはどこ？」であることを伝える。	○ALTにとって My Hero は両親であることを伝える。
2 単元の課題をつかむ ・ALTの両親からのビデオレターを視聴する。 ☆ALTのご両親に小野中の先生を紹介してご両親を安心させてあげよう。	5分	○生徒とやりとりをしながら生徒自身に課題を発見させる。 ※ALTの両親を安心させるためにはどんなことができるか考えさせ、意見を発表させる。（自）	○イギリスにいる両親に日本での生活を心配させたくないことを生徒に伝える。 ※生徒が両親に本校の先生を紹介してくれたら嬉しいことを伝える。（共）
【単元の課題】 イギリスにいる ALT の家族を安心させるために、○○中の先生を紹介しよう			
3 本時のめあてをつかむ ・単元の課題を解決するための手立てを把握する。 ☆Lesson 5 でつくったものが役に立つな。	5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 【本時のめあて】 ○○中の先生を紹介し合おう。 </div> ◇先生プロフィールカードを使うことで、前単元のまとめの活動が生きることを実感させる。	
4 試しの活動①を行う ・既習表現を用いながら、プロフィールカードを使って○○中の先生を紹介し合う。 ・最初は隣の席のペアで行い、	10分	○Show and Tell の姿勢で相手に伝えるように指導する。 ○聞き手に対して、質問をするよう指導する。 ○主語が I, you ではなく he, she であ	※聞き手となって反応したり質問したりしながら生徒と関わり、紹介できた生徒をほめる。（存）

<p>その後何人かの生徒と練習する。</p> <p>☆プロフィールカードでまだ表現できないものがあるな。</p> <p>☆友達のこの表現を参考にして加えよう。</p>		<p>ることをおさえる。</p> <p>○英語が苦手な生徒に対して語句の支援をする。</p>	
<p>5 3単現のSへの気づき</p> <p>・ALTのShow and Tellを聞いたり、教科書を活用したりしながら、3単現のSに気づく。</p> <p>☆主語がhe,sheであると一般動詞にSがつくのかな。</p> <p>☆友達のこの表現や教科書で使えそうな表現を加えよう。</p>	5分	<p>○ALTの音声、教科書本文の読み取りにより一般動詞にSがついていることに気付かせる。</p> <p>○「主語がhe,sheであると一般動詞にSがつく」という説明にとどめておく。(具体的には次時で説明する。)</p> <p>○教科書本文が家族紹介の内容となっていることや、使えそうな表現を参考にしてよいことを伝える。</p>	<p>○3単現のSを強調しながらShow & Tellをする。相手にしっかりと伝えるためには正確さが重要であることを説く。</p>
<p>6 試しの活動②</p> <p>・もう一度、プロフィールカードを使って先生を紹介しあう。</p> <p>☆「すること」や「好きなこと」も言えるようになるな。</p> <p>☆試しの活動①で質問されたことを生かして、今度は言ってみよう。</p>	10分	<p>○3単現のSと試しの活動①で質問されたことを生かして、行うように伝える。</p> <p>○Sを発音している生徒を賞賛する。</p> <p>○初めの活動よりも情報量が増えたことを実感させる。</p>	<p>○Sを発音していたら賞賛をする。</p> <p>※聞き手となって反応したり質問したりしながら生徒と関わり、紹介できた生徒をほめる。(存)</p>
<p>7 ライティング</p> <p>・紹介し合う活動で言えた文を書く。</p> <p>☆主語によって一般動詞の形が変わるんだな。</p>	5分	<p>○机間支援をする際に、3単現のSを確認する。</p>	<p>○机間支援をする際に、3単現のSを確認する。</p>
<p>8 本時の振り返りをする</p> <p>・生徒が振り返りを発表する。</p> <p>☆ALTのご両親に先生を紹介するのが楽しみだな。(内容面)</p> <p>☆紹介する先生のことをもっと知りたいな。そのためにもっと質問をしたいな。(内容面)</p> <p>☆3単現のSって便だな。(言語</p>	5分	<p>○振り返りとともに、単元の課題解決への意欲も記述させる。</p> <p>○内容面、言語面からのよい気づきを記述している生徒を意図的に指名し発表させる。</p> <p>※課題を自ら発見し、課題解決へ向けて協力して活動できたことをほめる。(自・共)</p>	<p>○自らの両親へのメッセージのために先生の紹介の練習をしてもらったことについて感謝の気持ちを述べる。</p>

面)			
----	--	--	--

IV「追究する」過程における授業の展開（7/9）

B・C

1 ねらい 書きためた紹介文をグループで読み合う活動を通して、相手意識をもって推敲することができる。

学 習 活 動 ☆：生徒の意識	時 間	指導上の留意点及び支援のポイント ◎学びのつながり ◇つなぎ教材 ※生徒指導3機能（自=自己決定、存=自己存在感、共=共感的人間関係）	
		JTE	ALT
1 あいさつ・帯活動 ・Who is it? クイズ ☆3単現のSをたくさん使えたな。	5分	○黒板に書かれたキャラクターや芸能人についてペアでやり取りをする。	○表現につまずいている生徒を支援する。
2 単元の課題を確認する ・ALTの両親からのビデオレターの再度視聴し、単元の課題を再確認する。 ☆ALTのご両親に〇〇中の先生を紹介するための準備が順調に進んでいるな。	5分	◎◇2度目のビデオレターの視聴なので、1回目よりも細部を聞き取らせる。 ○ALTも両親に〇〇中の先生の紹介が届くのを楽しみにしていることを伝える。	○生徒の取組についての感謝の気持ちと両親に知らせたいがまだ秘密にしていることを伝える。
3 本時のめあてをつかむ ・相手に正しく伝えるために、書きためた文をチェックしてもらい必要性を感じる。 ☆自分のチェックだけだと不安だな。クラスメイトに見てもらおう。	5分	○正しく伝えるために生徒たちでできることは何か考えさせる。 【本時のめあて】書きためた文章をグループで読み合い、修正しよう。	○生徒のメッセージがしっかり家族に伝わるためには、正しい文章が必要であることを説く。
4 本時の活動を行う。 (1) グループごとに書きためた文章を読みあう。 ・チェックリストや教科書を活用しながら書きためた文の誤りを修正する。 ☆3単現のSがきちんと入っているな。 (2) 修正された文を書き直す。 ・チェックをうけた文を修正し、書き直す。 ☆自分では気付かなかった誤りがあったな ☆自信をもって伝えられるぞ。 (3) 修正した文を音読する。 ・グループで修正した文を発音やアクセントに注意しながら読み合う。 ☆説明がスムーズになってきたな。	30分	○チェック項目を示し、誤りのある部分に印をつけさせることで誤りに気付けるようにする。 ○短時間でも継続的な指導により、誤りのある英文を自己修正する力を身に付けさせる。 ○チェック前よりもチェック後の方が自信をもって言えることを実感させる。	○生徒が正しくチェックができていないか机間支援する。 ○生徒が正しく書けているか机間支援する。 ○文をしっかり言えているか聞き取る。

【表現の能力】文の誤りを正しく修正し、音読している。(観察、マップブック)

<p>7 本時の振り返りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が振り返りを発表する。 <p>☆ALTのご両親に正しく伝わるといいな。 (内容面)</p> <p>☆文の誤りを正すのは楽しいな。(言語面)</p>	5分	<p>※協力して教え合う態度をほめる。 (共)</p>	
--	----	---------------------------------	--

2 展開

V「まとめる」過程における授業の展開 (9/9)

B・C

1 ねらい 録画した Show & Tell を視聴し振り返ることで、相手意識をもった Show & Tell をすることができる。

2 展開

<p>学 習 活 動 ☆: 生徒の意識</p>	<p>時 間</p>	<p>指導上の留意点及び支援のポイント</p>	
		<p>◎学びのつながり ◇つなぎ教材 ※生徒指導3機能 (自=自己決定、存=自己存在感、共=共感的人間関係)</p>	
		<p>JTE</p>	<p>ALT</p>
<p>1 あいさつ・帯活動</p> <ul style="list-style-type: none"> Who is it? クイズ <p>☆人やモノを説明するのに慣れてきたな。</p>	5分	<p>○黒板に書かれたキャラクターや芸能人についてペアでやり取りをする。</p>	<p>○表現につまずいている生徒を支援する。</p>
<p>2 単元の課題を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の課題を最終確認する。 <p>☆ ALT のご両親は心配していたな。早く安心させてあげたいな。</p>	5分	<p>○ビデオレターでの ALT のご両親の「感情」についてやりとりをし、「心配」していたことを想起させる。</p>	
<p>3 本時のめあてをつかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ALTのご両親を安心させるためにはどんなビデオがよいか考え、意見を言う。 <p>☆ALTのご両親がちゃんと安心できるようなビデオになっているか観てみよう。</p>	5分	<p>○「安心する」にはどんなビデオレターになっているべきか考えさせる。</p>	<p>※生徒の良い意見をほめる。(存)</p>
<p>【本時のめあて】先生の紹介ビデオレターをよりよいものにしよう。</p>			
<p>4 本時の活動を行う。</p> <p>(1) 録画したビデオレターをタブレットで視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ビデオレターを視聴し、工夫点や改善点を伝え合う。 <p>☆もう少し笑顔のほうがいいな。声の大きさも必要だな。ジェスチャーもつけたいな</p> <p>☆ここをはっきりゆっくり言うにより伝わるよ。</p> <p>(2) 本番のビデオレターを録画する。</p>	30分	<p>○自分が ALT のご両親でそのビデオレターをもらったらどう思うかを考えさせる。</p> <p>※初めから良いところはほめる。 (存)</p> <p>○この単元でこれまで学習したことを生かして活動に取り組みせる。</p>	<p>○ビデオを見ながらほめたり助言したりする。</p> <p>○発音・アクセント等を助言する。</p>

<p>・工夫点や改善点をもとに、再度録画する。 ☆本番だから頑張ろう。最高のビデオレターにしよう。 (3) ビデオレターを見せ合う。 ・録画したビデオレターをグループで見せ合い、改善したことを確認する。 ☆ついに完成した。楽しかったな。 ☆ALT の両親はきっと喜んでくれるだろうな。</p>		<p>※ビデオレターで工夫されているところをほめて達成感を味わわせる。(存)</p> <p>【表現の能力】最初のビデオレターの改善点を見つけ、よりよいものになっている。(観察、ビデオレター)</p>	<p>※ビデオをみながら具体的なところをほめる。(共)</p>
<p>7 本時の振り返りをする ・生徒が振り返りを発表する。 ☆三単現のSを使って色々な表現ができるようになった。(言語面) ☆〇〇中の先生について詳しく紹介できるようになった。(内容面) ☆頑張って準備したものが形になって嬉しいな。(内容面)</p>	<p>5分</p>	<p>○単元のはじめの試しの活動と本時の活動を比べ、できるようになったことを実感させ、振り返らせる。 ※協力してビデオレターを完成させたことをほめる。(共)</p>	<p>○自分の両親のために頑張ってくれたことに対して感謝の言葉を述べる。</p>